

岩手県看護協会 二戸支部だより

2018.11月 第2

号



平成30年 看護実践報告会・リフレッシュ研修会開催しました！

平成30年10月6日（日）二戸地区合同庁舎1階会議室において、看護実践報告会・リフレッシュ研修会を開催しました。看護実践報告会では『始めました！看-看連携』と題しまして、岩手県立二戸病院 林本郁子総看護師長より二戸管内での看-看連携の実際や今後の課題や展望について、熱く！ご報告頂きました。来る2025年問題に対して、看護専門職としての役割をどのように果たしていく必要があるのか改めて考えさせられました。

リフレッシュ研修会には松村健康館ヨガ教室 松村諭氏をお招きし、ヨガで硬い体をほぐしながら、健康生活を送るためのヒントをユーモアたっぷりに教えて頂きました。みんなで笑いながら、凝り固まった心身をほぐすことができた至福のひと時でした。研修会には43名が参加しました。お休みのところ、多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。



一戸町認知症セミナー 協力報告

平成30年10月13日（土）一戸町コミュニティーセンターホールで開催された認知症セミナーに、二戸支部会員2名が健康チェックや健康相談に対応協力しました。

協力活動を通じて、認知症になっても、地域でいきいきと暮らせるように老若男女問わず、地域の方々への啓蒙活動の重要性を感じた1日でした。

支部助産師職能委員会・助産師交流会

参加報告

平成30年9月29日（土）岩手県看護研修センターにおいて支部助産師職能委員会・助産師職能交流会があり、二戸支部・助産師職能委員1名が参加しました。委員会では重点組織強化の確認や産科混合病棟における現状、助産出向システムに関する情報交換や、今後のアドバンス助産師の活用やアドバンス助産師継続更新、申請方法の変更点について活発な討議が行われました。

助産師交流会では『母子を守るための社会的擁護を視野に入れた支援』と題しまして、東京成徳大学 子ども学部子ども学科教授 益田早苗氏の講義と意見交換があり、乳幼児・児童虐待問題の増加や家族関係が多様化している中、養子縁組制度など社会的擁護の必要性とそのような擁護を必要とする母子ケアについて考えるよい機会となりました。

にのへ健康フェスティバル 協力報告

平成30年10月21日（土）カシオペアメッセ・なにかーとで行われたにのへ健康フェスティバルに二戸支部会員4名が参加し、手洗いチェックや健康チェックのコーナーを担当しました。フェスティバルには多くの方々参加し、賑わっていました。

手洗いチェックがとても好評でした！冬に向けて、感染対策が大切になりますね。



千度



二戸支部長の種市幸子です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。そろそろお手元に「31年度継続のお知らせ」が届く頃だと思いますので、ぜひもれのない手続きをお願い致します。それでは皆様、健康に留意され、良いお年をお迎えください。

協会員大募集！
一緒に活動できる
仲間を増やそ